

●7日第4回親子で遊ぼう学ぼう魚とり大人36人、子ども52人スタッフ18人の参加がありました

参加申し込みはこれまで最多の109人ということでした。しかし実際には88人とスタッフ18人の100人となりました。二回目は雨上がりの増水で、三回目は減水、そして四回目は渇水で普賢寺川では不可能となり、開催場所を変更しなければなりませんでした。集合地から開橋までの大移動は初めての経験でしたが、かなりうまくできたのではないかと思います。河原での諸注意の後、魚とりを約40分間実施、なかなか採れなくて、苦勞されているようでした。それでもフナやスジエビなど、そこそこ捕獲できていました。そして魚合わせの後、刺し網の体験で、石を投げ入れましたが、魚を驚かすには石が少なく小さかったようで、捕獲できませんでした。進行に協力いただきましたので、時間に余裕が生まれ、せっかくのことなので、保護者の協力を得て、木津川本川での、川ながれの体験を行いました。ライフジャケットをつけているので、仰向けになれば流れ下ることができます。楽しいひと時を体験していただきました。また積極的な保護者の協力があって、大成功できました。

●県外現地視察研修会 9・10日 10名が参加

最初の訪問地木曾三川公園管理センターに10時到着、管理センター和田企画業務課長からお話をいただく。展望台から三川の合流地点を望みながら約1時間お話をいただく、その後展示場で様々な展示物を見学。映像では木曾節に合わせて木曾の木材を運び出した筏に寄せて木曾川の文化や歴史風俗を説明したスコープが目を引きました。

続いてトヨタ自動車のトヨタ会館を訪れると、100mはあるかという巨大なビルの横の展示会館では数十台の最新の機種が所せましと並べてありました。そして自動化された工場のものすごい数のロボットによる組み立てや溶接や塗装などが映し出される映像に、世界のトップ企業の自動化の現実を見せられ、いまの産業について時代の先端に触れることができました。また、ロボットによるバイオリン演奏にも驚きました。ほんの少し時間に余裕があったので足助（あすけ）の街並みの見学に足を延ばしました足助川に面した商業の街並みで恵那街道と塩街道と呼ばれた古い町並みが残るところでした。

大急ぎで宿泊の野間温泉の民宿「新宮館」に移動開始です。「新宮館」では地元の山森哲夫さんにお越しいただいて風土や暮らし、そして愛知用水の功罪を学びました。ここは伊勢湾に50mのところでした。暑かった日中にくらべて、夕方は海から吹き上げる風は気持ちの良い湿気の少ないとても涼しい風が吹きわたってきました。

初日のアクシデント 3つ 訪問先への自己紹介資料を山城大橋で思い出して取りに帰る。慣れないナビで数回ルートの間違える。桜谷先生への連絡で深田さんの奥さん、大村さん、金田さんにご迷惑をかけました。

二日目 朝近くの海に散歩、朝食後、出発直前に桜谷先生から電話があり一安心。エビセン場でお土産を仕入れる、河和口駅（こうわぐちえき）への道を間違い、地元案内の山森さんともすれ違い、やっと河和口駅で勢ぞろいする。研修会の目的地布土一向山磨砂産業史跡、磨き砂の公園に行く途中の風景はまさに里山農園の景色と瓜二つ、やっと自動車を通る細い山道を登り、地元の関係者・ボランティアが整備されている殉職者13名の慰霊地に到着。ウバメガシやミカン畑が栽培されていました。ここで感じたことは、里山農園から砂採り場までの通路整備を完成させれば、洞穴が大きな呼び物になる地域遺産にできるモデルと感じました。ここは関係者の手による整備が進んでいました。早朝から目印を立てていただいた山森さんとここで別れ、常滑市（とこなめし）を目指しました。

常滑市で愛知用水総合管理所下流管理所の所長中川義久氏から詳しく用水の構造などについて説明をいただき、質問にも答えていただき学習を深めました。その後幹線水路の水位調節ゲートの無動力装置や佐分利池、水の生活館を案内紹介されました。

続いて全国七窯の一つがここで、その窯跡がある七曲り公園を訪ね平窯や登り窯を訪ね青代さんから解説がありました。ここで時間が余ると判断して知多半島の先端・羽豆岬に回りました。

昼食もそこそこにして、名古屋平和公園里山の家に戻りました。ここは都会とは思えない里山でした。東山公園や植物園が隣接しています。桜谷先生がホームグラウンドとされている活動場所で、コメつくりや小川、炭焼き場、そして誰でもが集えるビジターセンターが備えられています。屋根には散水措置を施し野草が生い茂って、景色に溶け込む工夫がありました。

約 1 時間園内を案内いただき記念撮影ののち、先生とお別れして帰路につきました。ご参加いただきました 10 名の皆様ご苦労さまでした。また各所で案内説明いただきました皆様大変お世話になりました。有意義な取り組みになりました。学びを生かした活動に取り組む覚悟です。ありがとうございました。

●燕の埒入り 6 日（土） 宇治川堤防左岸 観月橋下流に 300 人以上の人出

暑さ続きの中、雨を待ち遠しくしています。この日も一雨あるのではないかと思います空模様でしたが、期待を持たせるだけでした。しかし空には薄雲が残り夕焼けはありませんでしたので、ツバメの観察にはいい条件と見ました。向島駅では他の団体の皆さんが大勢集まり始めていました。時間が来たので芳川さんと相談して出発しました。田んぼの稲は早くも穂を出しています。注意して水路を見ましたが、ジャンボタニシは全く見られませんでした。

堤防には早くも大勢の皆さんが場所取りをされています。まだ 40 分は余裕があるようなので、腰を下ろして休憩です。頃合いになると、これまでであったことがないほどの大集団となって、堤防の通行もかき分けなければならない人波となっています。河川レンジャーのノボリも数本見えました。戻ってくる燕の姿はこれまでなく少なく大空を覆いつくすという状況は昨年に引き続いて見られませんでした。

●木津川市役所ロビー展 3 日間で 200 人以上の来訪者がありました。

目玉の竹蛇籠に質問集中。木津川市の夏祭りへの参加としてロビー展を河川レンジャーとして参加しています。子どもたちの川での活動のまとめや、野鳥撮影、植物写真など楽しく迫力ある展示物が勢ぞろいしました。皆さんの苦労が実感できる作品ばかりでした。訪れたみなさんは感激されている様子が受け止められます。中でも竹蛇籠の発表はかなり関心を持っていただいた様子でした。

●京都府の 28 年度地域力再生プロジェクト事業交付金の交付決定が届きました。

前号でも申請内容を一部紹介しましたが、総事業費 300 万円の事業計画です。昨年実績は 250 万円の決算で事業消化できませんでした。28 年度は皆さんのご協力で申請計画事業を完全達成できますよう、お願い申し上げます。**1.** 里山の会結成 20 周年記念としての木津川生育植物調査写真集の発行、**2.** 木津川での魚とりと木津川の学習会の開催、**3.** 竹蛇籠での生き物調べの実施、**4.** 環境フェスタへの参加と発表、**5.** 植物写真集を使っの学習会の開催を計画しています。

●灯呂流し今年も実施します

これまでお盆の 16 日田辺府営団地東側の防賀川で実施してきましたが今年も実行することになっています。8 月の暑さもお盆を過ぎると一段落するとき、せせらぎを渡る風にも少し季節の移りを感じられます。簡単に誰でも組み立てられ、描いた手作りの灯呂を水面に流してみましょ。夕闇が迫るころには幽玄の雰囲気醸し出されます。実感をしてください。暑さと喧騒の中、ひと時の癒される場を求めてください。16 時過ぎから 19 時 30 分終了としています。

●27 日に計画している第 6 回目の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」への参加に随分と余裕があります。今年最後の取り組みです。大至急往復はがきで申し込みをしてください。住所、氏名と年齢（保護者と子ども共）、連絡方法（電話番号）、参加日 27 日とご記入ください。また当日のお手伝いさんを求めています。